

ふたば



来

ワークショップ

作業帖

2022.8.6-7



スケジュール

2022年8月6日（土）

- 11:30 JR いわき駅北口 集合・受付
- 11:50 JR いわき駅北口 出発
- 13:00 東日本大震災・原子力災害伝承館 着
- 13:20 伝承館 プロローグシアター、展示見学（1時間）
- 14:30 フィールドワーク（伝承館の研修オプション）（1時間30分）
- 15:40 移動（バス車窓から大熊町内を見学）
- 16:00 大熊町・インキュベーション施設見学
- 16:30 移動（バス車窓から大熊町内を見学）
- 16:50 ホテル蓬人館 到着
- 17:20 アイスブレイキング
- 18:10 夕食

2022年8月7日（日）

- 9:00-9:10 オリエンテーション
- 9:10-10:40 「震災後10年間の双葉地方の復興状況」の説明
（9:50-10:00 休憩）
- 10:30-11:00 福島第一原発の廃炉の状況の説明
- 11:00-11:10 質問票・廃炉に関して知りたいことの書き出し
- 11:10-11:20 休憩
- 11:20-12:00 質問への回答
- 12:00-13:00 昼食
- 13:00-14:00 「現在の復興状況を踏まえつつ、将来どのような双葉地域を実現したいか」（実現したい未来）の書き出し
- 14:00-14:10 休憩
- 14:10-14:50 「いまからどのような政策を行うべきか」（政策提言）の書き出し
- 15:00-15:10 いいねシール
- 15:10-15:20 休憩
- 15:20-15:40 発表の準備
- 15:40-16:20 未来世代からの提言発表・意見交換
- 16:20-16:30 修了式

学生ツアーでの見学ポイント

・ バスルート <https://bit.ly/3Oxd2Bj>



広野火力発電所パンフレット

① JERA 広野火力発電所

常磐道広野 IC 付近から東方向に広野火力発電所のスタックが見えます。



② JAEA 楢葉遠隔技術開発センター (NARREC)

広野 IC 通過後にみえます。日本原子力研究開発機構 (JAEA) の福島第一原子力発電所の廃止措置に向けた技術開発と実証試験を行う施設です。研究管理棟と試験等で構成され、試験棟では廃炉に向けた様々な実規模 (モックアップ) 試験が行われています。また、ロボットをはじめとした遠隔操作機器や VR 技術などを見学することができます。

福島第二原発
廃炉措置の状況

③ TEPCO 福島第二原子力発電所

楢葉スマート IC 通過後ほどなくしてみえます。福島第二原子力発電所では、2021 年 4 月 28 日に廃止措置計画の認可を受け、同年 6 月 16 日に福島県、楢葉町および富岡町より、廃止措置計画認可申請に係る事前了解を受領し、同年 6 月 23 日より廃止措置作業に着手しています。



福島第一原発
各号機の状況

④ TEPCO 福島第一原子力発電所

大熊 IC 付近、東側に TEPCO 福島第一原子力発電所が位置しています。また除去土壌等の中間貯蔵施設が位置しています。



⑤ 環境省中間貯蔵施設：受入・分別施設

伝承館から南側に環境省中間貯蔵施設の受入分別施設が位置しています。受入・分別施設は、仮置場等から運ばれた除去土壌の大型土のう袋を破り、2 種類のふるいにかけて、可燃物 (袋、草木・根など)、金属などの異物を取り除く施設です。分別した土壌は重量を測定し、ダンプトラック又はベルトコンベアで土壌貯蔵施設の入口まで運搬します。可燃物は、減容化施設 (仮設焼却施設・仮設灰処理施設) に運びます。

中間貯蔵施設
情報サイト



伝承館 web
サイト

⑥ 東日本大震災・原子力災害伝承館

2020 年 9 月 20 日開館。展示や語り部、研修、調査・研究を通じて、東日本大震災とそれに伴う原子力災害について、何が起き、どう向き合ってきたかを伝え、防災・減災に向けた教訓を国内外や未来へつないでいく施設です。



⑦ 大熊インキュベーションセンター

大熊町が旧大野小を活用し整備している起業支援拠点。町は校舎を起業家やベンチャー企業、町民らが集う拠点として生まれ変わらせ、新産業創出や交流人口拡大につなげています。

開所記事



⑧ 環境省中間貯蔵施設：減容化施設

国道6号高万迫～陳場下付近東側に福島第一原子力発電所、環境省環境省中間貯蔵施設の減容化施設（仮設焼却施設・仮設灰処理施設）が確認できます。仮設焼却施設では、除染廃棄物、災害廃棄物、草木などの可燃物を焼却し、減容化します。発生した焼却灰等は、さらに減容化をするため、仮設灰処理施設で溶融処理します。

仮設焼却施設



⑨ 大川原第二災害公営住宅

大熊町災害公営住宅は、町内で居住していた住宅が滅失した方や帰還困難区域にお住まいであった方を対象に、整備された公営住宅です。

大熊町災害
公営住宅



⑩ 大熊町役場 本庁舎

2019年5月、町内大川原に大熊町役場本庁舎が完成しました（2011年3月の全町避難以来、約8年2か月ぶり）。

開所記事



⑪ 夜の森桜並木

富岡町の誇りの桜のトンネル。樹齢80年以上の木も多く、始まりは明治時代の植樹に由来。富岡駅から約4km、夜ノ森駅から約1km。全長2.2kmにわたり、420本が植えられ、樹種はソメイヨシノなどで、夜の森地区全体で1,200本の桜があります。例年、4月上旬には「夜の森さくらまつり」が開催されます。

東北観光・
旅行情報



⑫ JAEA/CLADS 国際共同研究棟

2015年に組織された廃炉国際共同研究センターの中核拠点として、2017年4月に富岡町に「国際共同研究棟」が設置されました。2020年には福島環境安全センターを統合し、現在の廃炉環境国際共同研究センター（CLADS）が誕生しました。CLADSでは燃料デブリ、放射性廃棄物管理、環境回復、および放射線共通研究・基盤という4つの研究開発を軸に、課題解決に取り組んでいます。

CLADS と
は



⑬ 富岡町文化交流センター「学びの森」

【大屋根と自然に包まれた交流空間】という構想のもと町民が学習するための【生涯学習館】学習活動の発表や催しのための【大ホール】地域の歴史や生活文化を次世代に伝える【歴史民俗資料館】からなる複合文化施設となっています。

学びの森



伝承館でのフィールドワークマップ

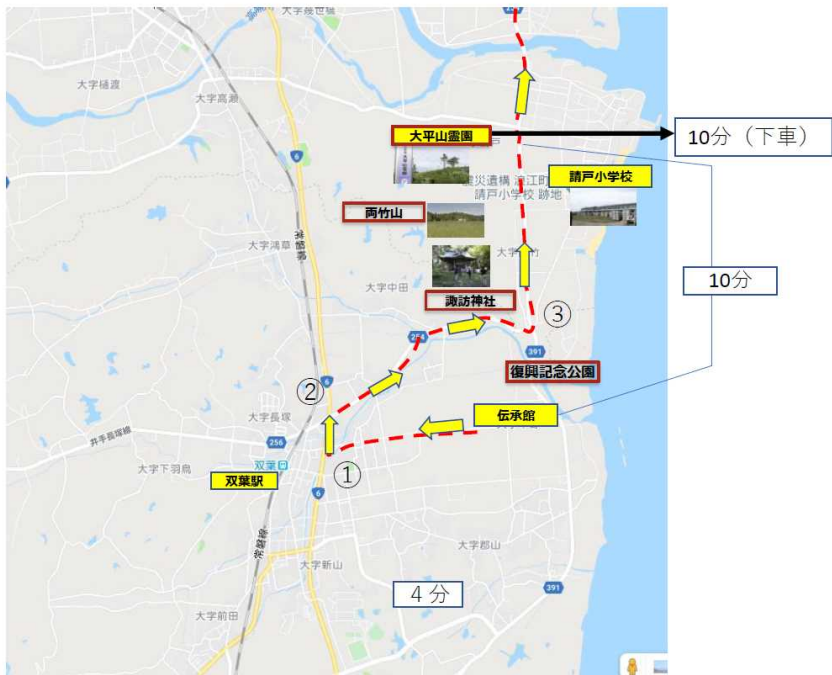
フィールドワークマップ全体図 (双葉町、浪江町)



- ★14:46 地震発生
 - ①14:54 浪江町→大平山に避難開始
 - ②15:35 大平山の麓に到着
 - ③16:05 大平山頂上に到着
 - ④16:30 国道6号に到着
 - 16:40 運送業者の大型トラックに乗る
 - ⑤17:00 町民体育館に到着
- ※「ふるさと浪江 郷愁編」をもとに作成

東日本大震災原子力災害伝承館フィールドワーク経路

浪江町側①



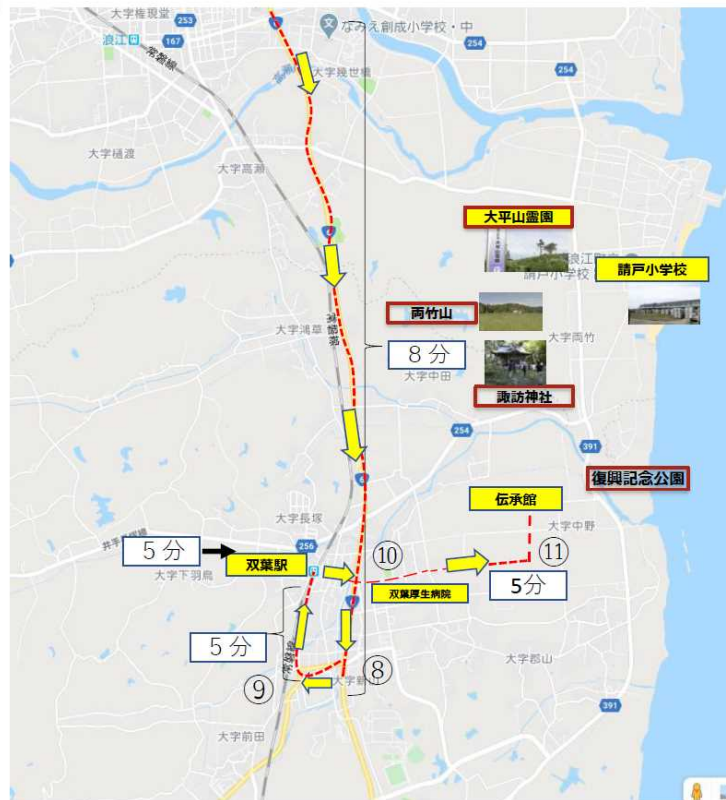
東日本大震災原子力災害伝承館フィールドワーク経路

浪江町側②



東日本大震災原子力災害伝承館フィールドワーク経路

双葉町側



一日目のバスツアー、伝承館でのフィールドワークの作業帖

一日目のバスツアー、フィールドワークをもとに、未来の双葉地方はどうあるべきか、どのような課題があるか、今から何をすべきか、気づいた点を書きとめてください。わからなかった点、あるいは質問したいこともお書きください。

*今回一緒に班になったメンバーは？

名前は？ どの学校に通っている？ どの出身？ どんな人？

①名前： _____ 学校

どんな人？

②名前： _____ 学校

どんな人？

③名前： _____ 学校

どんな人？

④名前： _____ 学校

どんな人？

⑤名前： _____ 学校

どんな人？

自分は

名前： _____ 学校

ファシリテーターはどんな人？

名前は？どんなことをしている人？

名前： _____

どんな人？



二日目の未来ワークショップの作業帖

* 「震災後 10 年間の双葉地方の復興状況」説明の作業帖

レクチャーを聴いていただきながら、それぞれの項目について、未来の双葉地方はどうあるべきか、どのような課題があるか、今から何をすべきか、気づいた点を書きとめてください。資料や説明でわからなかった点、あるいは質問したいこともお書きください。

福島県の中の双葉地方

震災前の双葉地方

人口と人口予測

就業者人口・産業構造

保育・教育

医療・介護

土地利用

農業

再生可能エネルギー

森林

温暖化リスク

災害リスク

技術進歩

* 「福島第一廃炉 10 年の歩み」の説明の作業帖

・説明を聞いてわからなかったこと、さらに説明を受けたい事項など、メモをお願いします。